

【樹木の部屋】

サンカクバアカシア (マメ科アカシア属 *Acacia cultriformis*)

和名：サンカクバアカシア **別名**：ナイフリーフワトル、カルトリフォラミス

英名：knife-leaf wattle

マメ目 常緑低木 **原産地**：オーストラリア

花言葉：秘密の愛、友情、優雅

花色：黄色



←↓ 写真-1, 2 サンカクバアカシアと葉

撮影日：2024年4月8日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



←↑ 写真-3, 4 サンカクバアカシアの花

撮影日：2024年4月8日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

アカシア属は約 1000 種が、熱帯から温帯にかけて、特にオーストラリア大陸、アフリカ大陸に多数の種が分布しているそうです。日本では、明治時代に輸入されたニセアカシアを当時アカシアと呼んでいたことから現在でも混同使用されているようで、実際に植えられている樹種もニセアカシアであることが多いそうです。

また、日本では黄色の花を咲かせるアカシアの仲間をミモザと呼ぶことが多いのですが、ヨーロッパでミモザと言えば、フサアカシアのことを指すそうです。

サンカクバアカシアの花期は、3~4 月頃(原産地では 8~11 月頃)で、葉腋から花柄を伸ばし、黄色い球状花を多数個着け、総状花序(房)となります。個々の花は花弁より長い雄蕊を多数出す球状の集合花で 1 個の丸い花のように見えます。無数の房が着くため木全体が黄色に見える美しい樹木です。

幹は根元から株立ちとなり、上部でよく分枝します。樹皮は黒灰褐色で縦に裂け目があり剥がれやすく地肌は赤褐色です。

葉身は退化し、葉柄部が平らで、左右非対称の逆三角形で灰緑色の仮葉が螺旋状に密生して互生します。葉縁は全縁で葉先は尖ります。

仮葉は全体的に粉白で、1 本の脈のみが目立ち、枝側にある頂点に腺体がつきます。果実は扁平な豆果です。

病虫害としてはカイガラムシ、アブラムシなどがあります。成木での移植は難しい樹木なので、どうしても必要な場合は前年に根回しすると良いそうです。開花後に強く刈り込むと、樹齢を長くすることができるそうです。

花後の枝は切り戻し剪定をし、風通しを良くするとともに、5~7 月に全体的に剪定してコンパクトに仕立てます。夏以降に花芽をつけるので 9 月以降剪定をすると翌年の花付きが悪くなってしまうので要注意です。

< ちょっと一言 >

*フサアカシア(マメ科アカシア属 *Acacia dealbata*)

・葉が緑色で長く、小葉の数も多い特徴があります。葉を触るとふさふさとして柔らかい印象です。樹高は 10~15m にもなるため、広いスペースが必要になります。ヨーロッパでミモザと言えば、フサアカシアのことを指すそうです。

*ニセアカシア(マメ科ハリエンジュ属 *Robinia pseudoacacia*)

和名: ニセアカシア **別名**: ハリエンジュ **英名**: Locust tree **花色**: 白

*仮葉(かよう)

・葉柄の部位が変形して普通の葉のように扁平になり、葉と同じ機能を営むようになったものです。